



# にじいろレター



## No.15

今回は、**がん性疼痛看護分野とがん化学療法看護分野の認定看護師からのお知らせ**です。

**がん化学療法看護** 三輪真砂子（PHS4475）新坂ともみ 村社環（PHS4213）

宮崎大学医学部附属病院 抗がん剤曝露予防のための取り扱い指針「調製編」「投与管理編」を作成しました。「調製編」は、注射用抗がん剤の調製を安全に行うための作業環境や作業手順を示しています。「投与管理編」は、抗がん剤の投与管理を行う上で抗がん剤の曝露を予防するための作業環境や作業手順を示しています。

抗がん剤を取り扱う医療者の皆さんに、是非、活用していただき、抗がん剤に曝露させない安全な環境を皆で整えていきましょう。みんなが同じ対策をとることがポイントです。

### 「簡易版スピルキット 宮崎大学」のご紹介

スピルキットとは、万が一抗がん剤の薬液がこぼれた場合や、アンプルやバイアルなどの破損時に、薬液、ガラス片などを安全に除去、廃棄するための簡易キットのことです。

抗がん剤投与中の患者さんの吐物や排泄物で汚染されたものを片付ける場合にもお使い下さい。

### 簡易版スピルキット 宮崎大学



スピルキットを着用すると左写真のようになります



患者を守る  
仲間を守る  
自分自身を守る  
個人防護具を着用して処理しましょう



宮崎大学医学部附属病院

抗がん剤曝露予防のための取扱指針

## 疼痛緩和に繋がる身近な看護

温罨法や冷罨法は、日々よく行う看護ケアです。身体の一部に温熱・冷却刺激を与えることで、消炎や鎮痛、浸出液の吸収促進を目的としています。そのリラクゼーション効果により、疼痛閾値を上げる効果もあります。

## ＜効果発現のメカニズム＞

温熱刺激：コラーゲン線維の伸展性向上や筋の鎮痙作用により、筋緊張が緩和される。また、血行の改善により、局所に停滞した炎症産物による神経刺激や圧迫が取り除かれることも疼痛緩和につながる。

冷却刺激：末梢血管の収縮により、浮腫の抑制と局所の酸素活性の低下によって炎症が軽減し、疼痛緩和の効果がある。

## ＜適応＞

温熱刺激：

- 急性期を脱した炎症や慢性期の炎症の場合（炎症徴候がない）
- 悪寒戦慄がある場合 など

冷却刺激：

- 急性期の炎症症状や刺激症状が強い場合（圧痛や発熱がある場合）
- 出血傾向が強い場合 など
- ・急性期、炎症症状や発熱による刺激症状の強い時には、冷却刺激を選択する
- ・症状が緩解しはじめたら好みによって温熱刺激を与える
- ・特別の症状、以下に挙げる禁忌に触れなければ、患者が気持ちよく感じる方
- ・軽度の炎症を起こしているときや焼けつくような末梢の痛みには寒冷刺激

★夕方に足浴を行うと、温熱刺激でリラックスでき、入眠への手助けとなります

